
まつりの開幕を告げるお菓子まきは多くの歓声に沸きました

葛巻町の農林商工が集結

くずまき町民まつり


▲開会のあいさつを述べる鈴木町長

第52回くずまき町民まつり2026が、10月10日と11日の２日間、くずま～るなどを会場に開催されました。

両日とも晴天に恵まれた会場には、町内外から延べ3,700人が訪れ、ステージイベントや農林商工の魅力を存分に味わえる多彩な催しが、来場者を大いに楽しませました。

２日間にわたる町民まつりは、くずま～る駐車場に設置された特設ステージで、葛巻保育園の園児によるアトラクションで幕を開けました。各組がはやりの曲で、元気なダンスを全３曲披露。まつりのスタートにふさわしい発表となりました。

オープニングセレモニーには、鈴木重男町長をはじめ、町内外の農林商工業関係者が出席。鈴木重男町長は「まつりでは農林商工が一丸となって日頃の活動の成果を発表する。会場内の展示などを楽しみながら、一歩ずつ前進する町の姿を実感してほしい」と来場者に向けてあいさつしました。続けて特設ステージではお買い物券の当たるお菓子まきが行われ、この機会を待ち望んでいた来場者は、たくさんのお菓子を手に笑顔を輝かせました。

くずま～る会場では、町商工会や３セク、町内企業などの出店ブースが軒を連ね、葛巻高校の生徒自ら商品を販売するおでってマーケットも盛況。買い物客でにぎわう会場は、活気に溢れました。また、生涯学習フェスティバル（関連記事20ページ）や福祉と健康のつどい（関連記事23ページ）も同時開催されるなど、文化や福祉に触れる機会にもなりました。毎年盛り上がりを見せるステージイベントも２日間開催。こぶしの会や橘和徳さんなどの歌のショーなどが行われ、まつりに花を添えました。

モウモウ館では旬を迎えた季節の野菜など、農産物が販売され、満足げにたくさんの購入品を抱える買い物客が多く見られました。

２日間のまつりは、多くの来場者を笑顔にし、秋の訪れを告げるイベントとなりました。

食の魅力が勢ぞろい

くずまき鍋＆ご当地グルメフェア



1


2


3


4


5

1多くの人でにぎわった会場2温かい鍋を堪能3新たに提供された葛巻高校生考案「グラタン風」鍋4人気ご当地グルメの出店も軒を連ねました5高校生が会場スタッフとしても大活躍

くずまき鍋＆ご当地グルメフェアが、くずま～るで町民まつりと同時開催され、くずまき鍋を提供する町内全６店舗と葛巻高校生が作るオリジナルくずまき鍋を合わせた全７種類が一堂に会しました。

昨年に引き続き、くずまき食のアンバサダーで料理研究家の小野寺恵さん（盛岡市）の指導の下、葛巻高校の２年生が「グラタン風」のくずまき鍋を考案。イベントで初お披露目されました。昼時にはくずまき鍋をはじめ、県内近隣市町村からのご当地グルメを堪能しようと多くの来場者が詰め掛け、お気に入りのグルメを探し求めていました。来場者の胃袋を満たしてにこやかな表情から、食欲の秋にふさわしい絶好のイベントとなりました。


オープニングを飾る葛巻保育園児の元気なダンス


生徒厳選の品が並んだ葛高おでってマーケット


会場を盛り上げるステージショー


大型農業機械も展示


モウモウ館会場では地元の農産物を販売


恒例のタイムサービスには長蛇の列が